



風の冷たい2月10日、全労連、国民春闘共闘、東京地評や民主団体で作る実行委員会主催の中央総行動が7000人が参加して行われました。「中央総行動」は早朝からの宣伝行動、2波に分けて開かれた日比谷野音での中央集会、国会や各省庁への行動等、終日にわたり多彩な行動が行われました。原告団は、消費税増税反対、原発ノーなどの要求とともに、不当解雇撤回のスローガン掲げて参加しました。

銀座をパレード



シュプレヒコールを繰り返しながら行進！

東京電力前では

原発事故の責任を取れ！

ただちに全面賠償を行え！



【写真右】銀座を行進する原告団。不当解雇撤回と安全運航の確保をアピール

安全を守るために早期に職場復帰を 財務省前で斎藤良子さんが訴え

財務省前の行動には、被災地や全国から駆けつけた約400名が結集しました。原告団から斎藤良子さんが訴えに立ち、JALの不当解雇について告発。「空の安全を守るためにも一刻も早い職場復帰を実現したい」と述べ、闘いへの決意と支援を訴えました。



大企業の横暴は許さない 参加者全員で経団連を包囲

財界の総本山、経団連前の行動は、銀座パレード終了後、参加者全員が徒歩で移動して行われました。

大手町にそびえ立つ経団連ビルを、カラフルなのぼりや横断幕をもった参加者で包囲。正面に陣取った宣伝カーからは、「今こそ大企業は266兆円の内部留保を国民のために使うべき」「資生堂での不当解雇を撤回せよ」

「震災を口実にしたソニーの非正規切りは許さない」「日本IBMの成果主義・減給、退職強要は人権無視であり不当労働行為」等々、大企業の横暴



を告発する訴えが相次ぎました。

早期に全面解決し全員で復帰をする 山口団長が決意表明

JAL 不当解雇撤回裁判の原告団を代表して、山口乗員原告団団長が訴えに立ちました。山口団長は「3月29日と30日に判決が出される。必ず勝利判決を獲得して、早期に全面解決をして全員で職場復帰を果たす。安全で明るいJALをめざすために、力いっぱい闘う」と決意表明をしました。

最後は、経団連を取り囲んだ全員で「大企業の横暴は許さないぞ！」「大企業は適正な税金を負担しろ！」「消費税増税は許さないぞ！」等のシュプレヒコールで締めました。



【写真】大企業の横暴は許さないと参加者全員で経団連を包囲